


令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当初 )	
設 計 書 番 号	年度 07
事 業 所 名	下水道保全課
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	公共下水道産業廃棄物処理処分委託 (南区その1)
( 工 事 ・ 業 務 ) 箇所	相模原市南区公共下水道区域内
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名	
単 価 採 用 地 区 名	相模原
事 業 区 分	
工 期	契約日から 令和 8 年 03 月 16 日 まで
設 計 金 額	( 円 )
設 計 概 要	別紙内訳書のとおり (単価契約) 基準工種：公共下水道汚泥処理処分費 円 (消費税除く)
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由	

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	
項	
目	
目の細目	
節	

<合併区分情報>

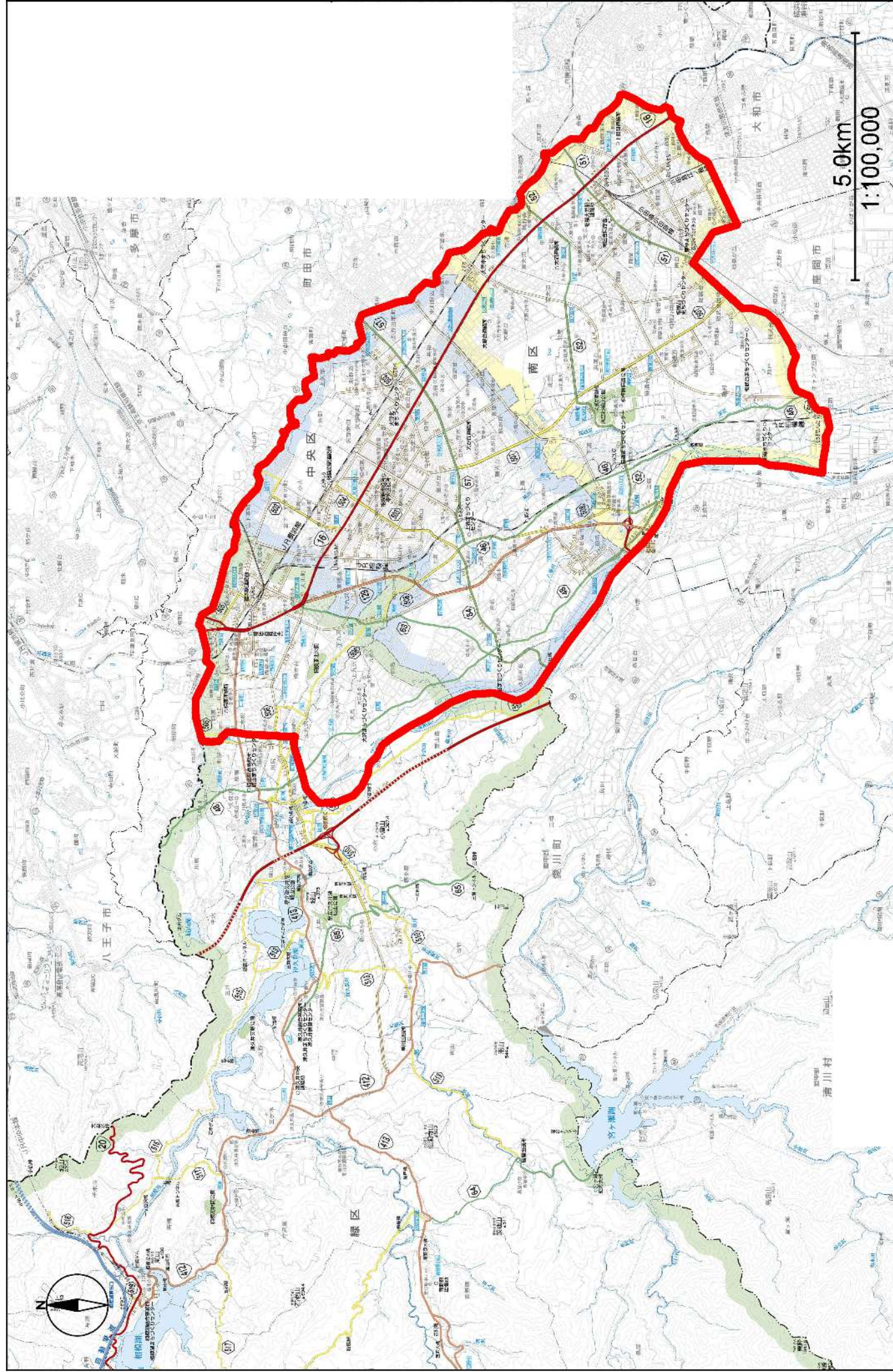
合併処理設定	しない	
	区分 1	
	区分 2	
	区分 3	
	区分 4	
	区分 5	
	区分 6	
	区分 7	
	区分 8	
	区分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 ( a )	当初請負額 ( b 1 ) 前回変更請負額 ( b 2 )	今回変更官積算額 ( c )	今回変更請負額 ( d ) = ( b 1 ) / ( a ) × ( c )	増減額 ( d ) - ( b 1 ) or ( b 2 )	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						



公共下水道産業廃棄物処理処分委託（南区その１）  
位置図





## 委託単価内訳書

(南区その1)

工 種	予定数量	単位	施工単価	予 定 金 額
公共下水道汚泥処理処分費	204	t		円
廃プラスチック処理処分費	2	t		円
予 定 委 託 価 格	(円止)			円
消 費 税	10%			円
予 定 委 託 価 格 計	消費税含む(円止)			円

## 委託単価換算率表

工 種	施工単価	換算値 (%)
公共下水道汚泥処理処分費		100
廃プラスチック処理処分費		100

第0001号 内訳書

1 式

産業廃棄物処理処分費

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 公共下水道汚泥処理処分費					第0001号下内
	1	式			
(AMA0020) 廃プラスチック処理処分費					第0002号下内
	1	式			
合 計					

第0001号 下位内訳書  
AMA0010 公共下水道汚泥処理処分費

1 式 当り  
適用年版 T0705  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 公共下水道汚泥処理処分費					
	1	t			
合 計					
	1	式			円／式

第0002号 下位内訳書  
AMA0020 廃プラスチック処理処分費

1 式 当り  
適用年版 T0705  
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 廃プラスチック処理処分費					
	1	t			
合 計					
	1	式			円／式

登 録 単 価 一 覧 表

[illegible]

# 公共下水道産業廃棄物処理処分委託仕様書

## 1 適用範囲

この仕様書は、公共下水道排水管きょ等清掃・浚渫委託により排出された下水道汚泥等の公共下水道産業廃棄物処理処分委託に適用する。

## 2 産業廃棄物の種類

種 類 「産業廃棄物」 下水道汚泥 廃プラスチック類

## 3 法令の遵守

処分業務にあたっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及びその他関係法令等を遵守しなければならない。

## 4 処分業務にあたっての確認

処分業務にあたっては、処分の許可基準に適合している旨の確認のうえ、業務を行うこと。

また、受注者は業務を実施する前にあらかじめ当該委託に係る処分が行われる施設の状況及び必要な事項に対して、確認できる書類を提出すること。

## 5 提出書類

受注者は、契約後直ちに「産業廃棄物処分業許可書」の写し（１部）及び最終処分業者との契約書の写し（１部）を提出すること。

## 6 中間処分業務完了の報告

受注者は本契約書による委託完了届（指示部分）を提出する際には産業廃棄物受入れ時における台貫計量写真、処分工程写真及び処分完了印を押印した「産業廃棄物マニフェスト（C 1 票）」を保管し、D 票を添付しなければならない。

## 7 最終処分業務完了の確認及び報告

受注者は、中間処分された産業廃棄物が適正に最終処分されたことを確認するとともに、「産業廃棄物マニフェスト（E 票）」を提出し適正に処分されたことを報告しなければならない。

## 8 監督員の立会い及び指示

処分業務にあたっては、監督員の指示にしたがうこと。また、本仕様書に明記されていない事項については、監督員と協議のうえ決定すること。

## 9 単価見積条件の明示

### （１）入札価格

入札価格は、委託設計単価換算率表の基準工種「公共下水道汚泥処理処分費」



の経費を含んだ1 t 当りの単価（但し、消費税を除く）とする。

## （2）契約の方法

この契約は、単価契約とする。

各工種の単価は、基準工種の入札価格を100%として、委託設計単価換算率表の比率により算出し円止めとする。

また、契約にあたっては、概算設計金額（消費税を含む。）に落札率乗じて得た金額（以下「発注上限額」という。発注上限額は万円止めとします。）の10分の1以上の契約保証金を納付し、契約単価表を付して契約を行うもの。

なお、発注上限額は指示の限度額であり、確定金額ではありません。そのため、本市の都合により、指示書に基づく契約金額の合計額が発注上限額に満たない場合が生じて、異議の申出又は損害賠償の請求をすることはできないものとする。

## 10 特に定めのない事項

契約書、仕様書及び設計図書に特に明示されていない事項で、作業上必要なものは受注者の負担において処理すること。

### 11 環境配慮事項

- （1）「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行うこと。
- （2）市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- （3）業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するように努めること。
- （4）業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、条例、相模原市一般廃棄物処理実施計画及び、関連法令を遵守し、適正に処理すること。

## 相模原市ウィークリースタンス特記仕様書

### (目的)

第1条 労働時間の上限規制やワークライフバランスの推進などの働き方改革を踏まえ、公共工事及び公共工事に係る委託業務を円滑かつ効率的に進めるために、一週間における受発注者間相互のルールやスタンスなどを目標として定め、計画的に履行することにより労働環境の改善を行い、工事目的物及び成果品の品質確保・向上及び担い手の育成・確保を図る。

### (取組の内容)

第2条 発注者は、以下の項目を例として受注者と取り組む内容を確認及び調整の上、設定する。

- (1) 月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない
- (2) 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- (3) 土・日曜日に休暇が取れるよう金曜日には依頼しない
- (4) 昼休みや午後5時以降の打合せをしない
- (5) 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- (6) 16時以降の現地立会を行わない
- (7) 作業内容に見合った作業期間を確保する
- (8) その他、任意に設定する

### (運用方法)

第3条 発注者は契約後の初回打合せ時に、前条各号の内容について受注者と取り組む内容を確認し設定する。

2 受注者は前項の規定により設定した内容を施工計画書又は業務計画書に記載する。

### 附 則

この仕様書は、令和6年7月1日から施行する。